

議会だより こさか



新花町自治会 お元気くらぶパートⅡ（6月29日） 毎月のお元気くらぶのほかに、10人以上が参加してパートⅡも開催し、軽い運動や会話をしながら楽しく活動しています。



レールパーク出発進行

レールバイクを楽しむ弘前市からのお客様

- | | |
|-----------------------------|------|
| 1. 5月臨時会・6月定例会の概要 | 2～3 |
| 2. 一般質問
こんなことを聞きました（7議員） | 4～11 |
| 3. みんなの広場 | 12 |



小坂町かぶきん

町独自の新型コロナウイルス 感染症対策予算を可決

・子育て世帯応援給付金	405万円
・新型コロナウイルス感染症対応医薬材料費	209万円
・新型コロナウイルス感染症対応雇用維持助成金	2000万円
・新型コロナウイルス感染症対応事業継続支援金	1000万円 他

5月 臨時議会

令和2年第3回小坂町議会臨時会が、5月19日に開催されました。

議会では、専決処分の承認のほか、新型コロナウイルス感染症対策に係る補正予算や、小坂町消防団の組織再編に伴う条例の一部改正などの議案を審議しました。



新型コロナウイルス感染拡大防止のため、議場の配置を変えてマスク着用での本会議

臨時会では、専決処分の承認や、消防団の設置並びに消防団員の定員及び任免に関する条例の一部改正などの議案3件、補正予算案2件をそれぞれ原案のとおり可決しました。（下段に議案一覧）

新型コロナウイルス感染症対策予算では、子育て世帯に對しての「子育て世帯応援給付金」、医薬材料購入、事業者への「雇用維持助成金」及び「事業継続支援金」のほか、「感染症対応資金利子助成金」、5月下旬に開設された鹿角地域感染症仮設診療所においての小坂町民の初診料の自己負担分予算について審議しました。

新型コロナウイルス対策に 第二、第三の支援を

審議の中で、新型コロナウイルスの影響で今年開校できていないイナカ・スクールへの今後の支援や、町が関係する福祉施設でのコロナ対策などについて議論しました。この状況は更に長引くと予想されるので、今後の町独自の支援については、現状をしっかりと把握して対応していただきたいと要望しました。

条例の制定・改正					区分
第4回定例会 議案名					
介護保険条例の一部を改正する条例制定	11	0	可決	賛成	結果
後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例制定	11	0	可決	賛成	結果
国民健康保険条例の一部を改正する条例制定	11	0	可決	賛成	結果
町税条例等の一部を改正する条例制定	11	0	可決	賛成	結果
新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者等に對する国民健康保険税の減免に関する条例制定	11	0	可決	賛成	結果
町税条例等の一部を改正する条例制定	11	0	可決	賛成	結果
国民健康保険条例の一部を改正する条例制定	11	0	可決	賛成	結果
後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例制定	11	0	可決	賛成	結果
介護保険条例の一部を改正する条例制定	11	0	可決	賛成	結果

専決処分										区分
第3回臨時会 議案名										
町税条例等の一部を改正する条例の専決処分の承認	11	0	承認	賛成	結果					
国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認	11	0	承認	賛成	結果					
ふるさと定住促進に係る新築住宅の固定資産税減免条例の一部を改正する条例の専決処分の承認	11	0	承認	賛成	結果					
固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例の専決処分の承認	11	0	承認	賛成	結果					
令和元年度一般会計補正予算（第6号）の専決処分の承認	11	0	承認	賛成	結果					
令和元年度国民健康保険特別会計補正予算（第3号）の専決処分の承認	11	0	承認	賛成	結果					
令和元年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）の専決処分の承認	11	0	承認	賛成	結果					
令和元年度介護保険特別会計補正予算（第5号）の専決処分の承認	11	0	承認	賛成	結果					
令和元年度歯科診療所特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認	11	0	承認	賛成	結果					
令和元年度下水道事業特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認	11	0	承認	賛成	結果					
令和2年度一般会計補正予算（第2号）の専決処分の承認	11	0	承認	賛成	結果					
消防団の設置並びに小坂町消防団員の定員及び任免に関する条例の一部を改正する条例制定	11	0	可決	賛成	結果					
消防団員の給与及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定	11	0	可決	賛成	結果					
一般会計補正予算（第3号）	11	0	可決	賛成	結果					
介護保険特別会計補正予算（第1号）	11	0	可決	賛成	結果					
和井内エリア観光拠点施設建設工事の請負契約の締結	11	0	可決	賛成	結果					

**6月
定例議会**

- | | |
|------------------|----------|
| ・学生生活支援臨時給付金 | 700万円 |
| ・高校生等扶養世帯支援臨時給付金 | 190万円 |
| ・小中学校ICT関連整備事業 | 1529万円 |
| ・感染症対応経営維持臨時給付金 | 3000万円 他 |

令和2年第4回小坂町議会定例会が、6月10日から16日までの7日間の会期で開催されました。

改選後初の定例会となった一般質問では、10年ぶりに7人の議員が登壇し町側の考えを質しました。また、新型コロナウイルス感染症に係る緊急経済対策予算や条例の制定などの議案を審議しました。

6月定例会では、新型コロナ

ナウイルス感染症に係る施策として、関連予算のほかに感染症の影響により収入が減少した被保険者に対する国民健康保険税の減免に関する条例の制定や、十和田湖地区観光事業者の固定資産税減免に関する条例の一部改正などの条例議案7件、補正予算3件を原案のとおり可決しました。

また、請願1件、陳情2件

を採択、意見書案3件を可決し、人事案件の固定資産評価審査委員会の委員1人と農業委員会の委員10人の選任に同意しました。(下段に議案一覽)

予算審議での質疑等の概要

問 集団検診が実施されていないが、今後の検診の予定は。

答 秋に予定しており、7月の広報で周知します。

問 新型コロナウイルス感染症対策後の緊急避難態勢の周知を。



多くの方が傍聴した一般質問

答 感染予防を念頭においた

避難計画を策定中であり、間もなく周知できる予定です。

問 観光誘客のための宿泊割引券の発行は。

答 国の交付金を見ながら対策について検討したい。

問 イナカ・スクールの再開の見通しは。

答 海外からの出入国が制限されている状態なので、再開のめどは立っていない。現在は、再開を見込んで海外への情報発信を展開しています。

[illegible]

1 5番 菅原 明雅 議員

1. 十和田湖地区への支援等について
2. 「2025年問題」について〔問題提起〕
3. 「新編 小坂町史」について



2 8番 鹿兒島 巖 議員

1. 若者定住政策の推進について
2. 緊急避難態勢の見直しについて
3. 来年4月町長としての任期満了を迎えることに関わって



3 9番 小笠原 憲昭 議員

1. 町の職員に関して
2. 町営住宅の管理について



4 6番 秋元 英俊 議員

1. 災害時における応急対策について
2. 災害時における生活必需物資について
3. 小坂町スポーツ少年団について



5 10番 熊谷 聡 議員

1. 新型コロナウイルスの影響について
2. 農業について
3. 地球温暖化について



6 7番 成田 直人 議員

1. コロナ不況による現状と対策について

7 3番 本田 佳子 議員

1. 新型コロナウイルス感染症の影響による町の支援等について
2. 新型コロナウイルス感染症の影響に伴った教育、子育て支援について



十和田湖地区への支援を

町長 支援策の周知徹底を図ります



菅原 明雅 議員

地区ホテル民宿等の積極的利用促進を。

答 支援策については100%利活用のために周知徹底を図ります。

また、国道の整備については、引き続き和井内から大川岱間の局部改良の早期整備を要望していきます。

十和田湖地区宿泊施設の利用については、協力要請というところをお願いしていきます。

要望 今は非常時であることを認識し、スピーディに十和田湖にお金が回る、一歩踏み込んだ政策を期待します。

町民みんなで知恵を出し合い、「一人の漏れもなく一円の無駄もなく国・県からの支援を受け、何が何でも十和田湖を守るのだ」という気概を示していただきたい。

2025年問題への対応は

問 2025年問題とは、団塊世代が後期高齢者の年齢に達し、医療や介護などの社会保障費の急増が懸念される全国的な問題ですが、この問題に対しての町の認識と町としての問題点、今後の対応について伺いたい。

答 同様に認識しており、社会保障費の増大とその不足が最大の課題だと考えています。打開策として、若い世代の移住定住を促進し、時代を担う人材の確保育成が必要です。

問 町の高齢者福祉事業は優



れていると評価しています。その優れている点を改めて町民に周知願いたい。

答 介護予防事業にいち早く取り組んだ結果、高齢者の健康増進や身体機能の維持向上が図られたことや、地域包括支援センターと社会福祉協議



観光シーズンの十和田湖の新緑

問題提起 世代をつなぎ2025 年に備えた町づくりを

携して、必要なサービスが将来的に安定して提供できるように努めていきます。

介護人材の確保については、秋田、青森、岩手県内の福祉大学や短大、専門学校を訪問して就職・就活の要望活動を行う予定です。また、有資格者で退職した人の呼び戻しの施策も進めていきます。

2025年問題は私の1期4年の主題であり課題です。町を動かす行政と町民の代表である議会が知恵を出し合い、この難題を克服していきたいと考えます。町長のご答弁で問題の認識と課題を町と共有できました。

しかし、国や県にも余裕がなくなり地方交付税や国や県からの支出金が減額される可能性があることや、徐々にではなく急激な社会保障費の増額が懸念されます。「財政面での計画的な備えが必要になる」と問題提起いたします。（紙面の関係で一部省略）

会による「地域見守りネットワーク会議」で、各自自治会を訪問して高齢者と話し合う等、独自の介護予防事業を展開していることが、介護認定率が低く介護保険料も県内で2番目に低い要因となっています。この取組については、各種会合で直接町民の皆様にお伝えし周知していきます。

問 2025年の介護人材は、試算では国が約34万人、県は約3600人が不足するとしていますが、町の状況と対応策について伺いたい。

答 今後も健康づくりや介護予防を継続していくことで、介護人材が極端に不足するとは考えていませんが、社会福祉協議会や小坂ふくし会と連

若者定住（単身・世帯）住宅の増設を

町長 民間賃貸住宅の建設を支援したい



鹿兒島 巖 議員

開く有望な施策の一つとして若者向け定住施策を手がけ、渡ノ羽での単身者住宅、岩ノ下の世帯向け住宅を建設してきたが、この施策は単発で終わらせることなく継続して取

り組むべきではないか。
答 増設については財政状況から今すぐ取りかかるのは難しく、平成30年6月に制定した「小坂町民間活力を利用した賃貸住宅建設促進条例」「小坂町民間活力を利用した賃貸住宅の固定資産税減免条例」を活用しての建設促進を図っていきます。

緊急避難態勢の抜本的見直しを

町長 「避難所開設・運営マニュアル」の改定を進めています

問 新型コロナウイルス問題は世界的に深刻な脅威をもたら

し、これまで築いてきた社会構造の根本を覆すほどの衝撃と、暮らしの有り様の根本からの見直しを迫られている。緊急を要する課題として災害時の緊急避難にかかわる課題がある。

答 避難誘導や避難場所の設置設備など根本から見直し、再構築が必要ではないか。
答 新型コロナウイルス感染症への警戒が続く中、地震や豪雨など自然災害が発生した場合の緊急避難態勢のあり方が課題

となっています。

「三密」を避けての避難誘導や避難場所の開設等について、県から「新型コロナウイルス感染症対策としての災害時避難所運営マニュアル作成指針」が示され、住民の安心・安全を確保するように求められています。

現在、指針を基に、「避難所開設・運営マニュアル」の改定を進めており、それに伴う備品等の整備も必要なことから、今回の補正予算で災害応急対策用品購入費予算を提案しました。

問 避難所は1人に必要な広さを最低4㎡としての見直し

や、仕切りの問題、トイレ、空調、消毒施設などに加え、分散型・住宅型、あるいは車中避難などの有効性についての検討を含めての見直し・再構築の必要性があるが、いつまでに見直しをするのか。

答 現時点でいつまでとは言えませんが、1か月から2か月後には避難に関わるマニュアルを改定し、町民の皆さんに情報提供ができるように準備を進めています。

これまでの町政運営への自己評価と今後の課題、改選への思いは

町長 当面の課題解決が先決で、改選については9月ころまでに表明したい

問 現在の任期を来年の4月で満了することになるが、これまでの町政運営に対する自己評価と、今後の課題、改選への思いはどうか。

答 平成21年4月に町長に就任し、第5次小坂町総合計画の策定に取りかかり、平成23年度から10年間（令和2年度まで）の基本構想をとりまとめ、「町民が主役のまちづくり」を推進するため、各種施

策に取り組んできました。3期目では、第5次総合計画の完遂を公約に掲げ、特に「若者世代の定住促進」に力を注ぎました。

問 改選については現在白紙状態であり、しかるべき時期に判断し、報告したいと思っています。
答 しかるべき時期とは。9月ころをめどにしたいと考えています。



世帯者向けの「岩ノ下ハイツ」



単身者向けの「渡ノ羽ハイツ」

問 少子高齢化が進行する中で、町の展望と活性化を切り

一般質問 町政を問う

町の職員採用条件の緩和策は

町長 この数年、年齢要件を引き上げて試験を実施します



小笠原憲昭 議員

営に不安を抱いていましたが、平成31年度採用試験から年齢要件を40歳まで引き上げ、30代の職員補充を行っています。

国では昨年12月に「就職氷河期世代支援に関する行動計画2019」を策定し、地方自治体にも中途採用の促進を要請しています。まだ30代の職員が他の年代より少ないことから、数年は年齢要件を引き上げての採用試験を実施し、バランスのとれた年齢構成となるように努めます。

一般質問 町政を問う

問 町職員採用に当たって、学力や一般教養のペーパー試験での新卒者中心の傾向にあるが、年齢制限の緩和や社会経験の豊富な人材の採用は考えられないか。

答 小坂町職員採用計画に基づき、計画的に職員採用試験を実施しています。

現在の職員の年齢構成は、平成15年から21年までの7年間職員を採用しなかったため、他の年代よりも30代の職員が少なく、将来の行政運



多くの職員が働く役場庁舎

問 職員の居住状況はどうなっているか。

答 本年4月1日現在の職員数は、再任用職員を含め86人で、町内者が63人（73・3%）、鹿角市13人（15・1%）、大館市10人（11・6%）となっています。

問 定住人口を増やす施策を進めているのに、26%、4分の1強の職員が町外者という実態をどう思うか。

答 本来であれば町の職員は全員町内に住んでほしいですが、結婚で町外に転出する場合や、職種によって町内からの受験者がいない場合もあります。

問 有資格者の採用に当たって、町内者が受験できるように環境づくりをしてほしい。また、採用されたら可能な限り町民と寝起きを共にし、町の活性化にも寄与していただきたいので、住居を斡旋（あせん）するなどしてほしい。

答 職員に対しての情報提供は必要と考えています。昨年も数人の職員から相談がありましたので紹介しましたが、町内在住には結びつきませんでした。

今後の町営住宅の管理は

問 あけぼの住宅入居者の移転・集約にどのように取り組むのか。

答 昭和32年から昭和37年に建設した北あけぼの団地30棟と、昭和38年から昭和46年に建設した南あけぼの団地31棟で団地を形成しています。

簡易耐火構造の建物は耐用年数を超えているため、団地全体の建て替えや移転を計画したことがありましたが、私有財産である増築部分の解体や補償の問題と、建て替え後に家賃負担が増えることが問題となり、町も多額の財政負担を伴うため、実現できないまま現在に至っています。

現在は、空き家には新たな入居を許可しない政策空き家として管理し、全戸空いた棟から解体しています。昨年度までに北あけぼの3棟、南あけぼの7棟を解体しており、今年度は北あけぼの2棟、南あけぼの1棟の解体費用を予算計上しています。1棟に1戸だけ入居している棟は、北あけぼの6棟、南あけぼの5



集約化が待たれるあけぼの住宅

棟となっており、できるだけ集中して住めることが理想ですが、耐用年数を大幅に超過している建物のため、既存の住宅を活用して団地の集約化を図るには、耐震改修等の多額の費用が必要のため、実現にはかなりハードルが高いと考えています。

問 目標年次を定めて集約化すべきではないか。

答 可能な限りまとめていきたいとは思いますが、町の財政状況から今すぐに進めていくことは大変困難な状況です。

災害時を想定した対応(訓練)は

町長 機会をとらえて実施したい



秋元 英俊 議員



問 小坂町と災害時に相互応援協定を締結している事業者と、災害が起きた事態を想定したシュミレーションや訓練が行われているのか。



災害を想定した水防訓練

答 町では、災害時における応援・協定等の締結をしているのは、国、秋田県、県内市町村、団体及び企業等12件となっています。

このうち、秋田県建造物解体業協会とは、平成26年11月に旧小坂町役場庁舎の解体工事現場で災害発生時に備え迅速な対応を取れるよう大規模災害想定合同訓練を実施しました。

他の団体及び企業等との訓練は実施していませんが、必要と考え、機会をとらえて実施したいと思います。

災害時の生活必需物資の整備は

町長 様々な災害を想定して備蓄に努めます

問 秋田県地域防災計画のある小坂町での最低備蓄数量が示されていますが、小坂町地域防災計画で県及び市町村の公的備蓄分担での備蓄目標数

値は91人分です。

近年、大規模災害や新型コロナウイルス感染症防止などの観点から、防護対策用品などの新たに必要とされる生活必需物資の備蓄品目及び数量を見直すべきではないか。

答 秋田県地域防災計画での最低備蓄数量は、現在確保されています。大規模災害や新型コロナウイルス感染症への感染防止に備えて万全な対応をするために、既存の備蓄増量のほか、それ以外の品目についても整備していく必要があります。様々な災害を想定しての備蓄に努めていきます。



毛布等の災害備蓄品

問 生活必需物資の供給は、町ではマックスバリュ小坂店のみの協定ですが、町のコンビニや個人商店にもその範囲を広げるべきと考えますが、必要と考えますので事業者と協議します。

スポーツ少年団の指導者に係る負担軽減策は

教育長 来年度以降の予算で対応を考えたい

問 今年度からスポーツ少年団の指導者制度が改定されたがその概要は。

答 スポーツを取り巻く環境が大きく変わる中で、スポーツ少年団は、既存のスポーツ少年団の枠を超えて「スポーツで人々をつなぎ、地域社会に貢献する」存在になることが期待されています。

このようなスポーツ少年団で指導することは社会的な役割を果たすものであり、スポーツ少年団のみで通用する資格ではなく、広くスポーツ界で通用する公認スポーツ指導者資格を保有することが望ましい観点から今回の改定となりました。

問 改定された内容に新たに指導者登録料が必要になったが、指導者個人に対して負担増になることから町として補助を検討できないか。

答 旧制度では新規登録講習料5,500円と登録料1,



セパームでのスポーツ少年団活動

500円が必要でしたが、新制度では、初期登録料3,000円と更に4年ごとの資格登録料10,000円が必要となりました。

この新制度の説明が県からあったのが本年度予算の要求後でしたし、上部団体の体育協会やスポーツ少年団と協議する時間がありませんでしたので、改めて体育協会、スポーツ少年団とも協議しながら、令和3年度以降の予算で対応を考えていきます。

新型コロナウイルスへの対応は

町長 各種の経済政策を実施します



熊谷 聡 議員

一般質問

町政を問う

創設しました。

このほかに十和田湖地区の下水道使用料の支払い猶予を行っています。また、今議会では売上が前年比で大きく減少した事業者への助成制度や十和田湖地区観光事業者の固定資産税減免制度について審議をお願いしています。各事業者においては、各支援制度を使い、早い経済復興・観光復興を図っていただきたいと考えています。

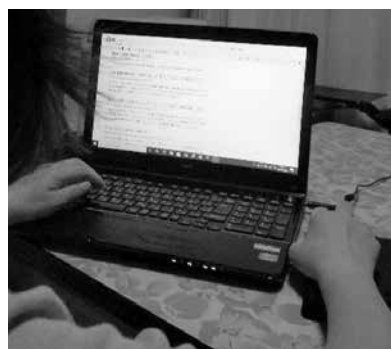
問 医療面でのコロナウイルス感染予防として、オンライン診療を小坂町診療所で導入する予定はあるか。

答 新型コロナウイルス感染拡大に当たり、国では非常時の対応として、4月からオンライン・電話による診療と服薬指導を開始しています。秋田県では132施設、鹿角・大館地域では6施設で行われていますが、鹿角管内で初診から実施している医療機関はありません。また、今回の緩

和措置は、感染拡大が収束するまでの時限措置であり、町立歯科診療所では、現時点でオンライン診療を導入する考えはありません。小坂町診療所でも、導入する考えはないとのことですので、町として導入する考えは現時点ではありません。今後、必要であると判断した時点で、関係医療機関と連携し、町民の安全安心のために対応していきます。

オンライン授業の取り組みは

問 他県でオンライン授業の取り組みがあるが、町でもスマートフォンやタブレットを利用したオンライン授業の環境整備・参画予定はあるのか。



家庭でのネット環境は

答 町では令和元年度に33台のタブレット端末を導入し、今回の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金も活用してタブレット端末249台と関連備品等を補正予算に計上しています。活用は、技術的な知識・学習方法が必要となり、各家庭のネット環境も様々なので、早急な対応は難しいと考えていますが、来年度からタブレット端末を授業に取り入れ、効率的な授業を進めていきます。

農業への支援は

問 減反政策が廃止されて2年が経過したが、農業機械などの設備投資は高額であり、産地交付金等も減少している。独自の新たな補助事業などは考えているのか。

答 産地交付金は農業再生協議会による水田フル活用ビジョンにより、需要の高い作物の生産を行う農業者に交付されます。畑作物の直接支払交付金は、需給状況を勘案し3年ごとに単価見直しを行っており、今年度は単価改正の年となっています。産地交付金が鹿角地域水田農業再生協

地球温暖化対策は

議会において、畑作物の直接支払交付金は農林水産省で決定されており、全国一律の単価設定で需給バランスによる改正のため、単価は下落となっています。



問 1880年から2012年の間に気温は0.85度上昇したが、町の温暖化対策とCO2削減はどの程度進んでいるのか。

答 町の二酸化炭素削減に係る数値計測データはありませんが、二酸化炭素の排出削減を中心に、環境負荷の低減に配慮した事務事業を実施しています。具体的には、こまめな照明器具の消灯、季節に応じたクールビズやウォームビズの施行、電気や燃料の使用料削減、公用車の低公害車の導入等を実施し、地球にやさしい新エネルギーの導入を図り、地球温暖化防止に向けた取り組みを推進していきたいと考えています。

コロナ不況による現状は

町長 経済的影響はかなり深刻な状況



成田 直人 議員

一般質問 町政を問う



感染予防対策でビニール越しでの町民受付対応

問 国保税の免除・減免申請に対する現状は

答 厚生労働省は、新型コロナウイルス感染症の影響により生活に困っている国保被保険者への支援のため「保険税の減免」について、国が財政支援する際の基準を全国に通知しました。

これを受け、本定例会初日に、国保税の減免、税負担の軽減による支援を実施するため「国民健康保険税の減免に関する条例」制定を上程しました。今後この減免制度を周知徹底していきます。

問 令和2年度における町の財政状況の見通しは。

答 新型コロナウイルス感染症に係る国からの補助金、地方創生臨時交付金等が見込まれていますが、不足する財源については財政調整基金を繰り入れて対応します。

問 町内事業所の経営状況はどのように把握されているか。

答 3月に業種別の聞き取り調査を行い、4月には町内の法人に対しアンケート調査を実施しました。これらの回答では、今後影響が拡大するおそれがあるとの回答が多数寄せられています。

また、個人・法人含めて融資額が3億円を超える見込みで、経営資金に余裕がなく、経済的影響はかなり深刻な状況にあると考えています。



秋田県が発行したプレミアム商品券

プレミアム商品券の構築を

町長 国の二次補正、県の新規対策等を考慮

問 景気浮揚につながる「町独自のプレミアム商品券」の構築を考えられないか。

答 新型コロナウイルス感染症の影響で沈み込んだ町内経済の起爆剤として、プレミアム商品券の実施について、本補正予算での実施を検討しましたが、昨年度実施した低所得者、子育て世帯向けプレミアム商品券の購入率が4割弱と低迷したことや、商品券の

使用が特定の商店に偏るなど、町全体の経済活性化の底上げにつながらないと判断し、今回は実施を見送りました。

しかし、まだ経済対策は必要と考えていますので、今後示される国の新型コロナウイルス感染症対策に係る二次補正や県等の新規対策を見ながら、総合的に施策を展開し、町の経済及び消費の回復を図っていきたいと考えています。

秋田犬ツーリズムが発行した「オタチケ」第二弾を考慮すべき

意見 国・県は、尊い人命と民間事業所を守るために覚悟をもって財政投入していると評価しますが、当町も自らの財政負担を行い疲弊したサービス業等への対応として「プレミアム商品券」の構築をお願いしたい。

また、大館市・北秋田市・上小阿仁村・小坂町、この4市町村が連携している「秋田犬ツーリズム」では、客が戻

らない飲食店を応援するため、通称「オタチケ」が発行されたが、4市町村が協調し、魅力あるプレミアム感を強めた第二弾のチケット発行を考慮したい。



新型コロナウイルス感染症への 経済対策は

町長 速やかに対応します



本田 佳子 議員

一般質問 町政を問う

問 4月17日の国の新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言を受け、イベントの中止や休館する施設及び小中学校の休校に伴う事業の経営不振が広がるなど、町民の生活も不安定になっています。国や県の支援だけでは足りない状況であり、この度、町独自の支援策を伺っています。この後の第2波、第3波の可能性に備えた対策は考えているのか。

答 新型コロナウイルス感染症に係る町の支援等については、今回の補正予算の参考資料として提示していますが、まだ不足していると思います。今月中旬以降に国からの、第2弾の地方創生臨時交付金の概要が示されますので、内容を精査して適切に対応していきます。今後、第2波、第3波に対する対策もその時の状況を適切に把握して、速やかに対応します。

問 特別定額給付金を町内で使っていただけのような工夫は考えているのか。

答 国が家計への支援を行うために使途を特定せずに一人につき10万円を支給して、個人が自由に使えるものです。個人的には、地域経済の低迷脱却のために、町内の商店・事業所等で使用していただきたいと思っていますので、町民の皆様にはご協力をお願いしたいと思います。

問 できるだけ町の企業や商店に経済復興できるように、町民に周知できないか。

答 あくまでも個人が自由に使うものですので、町として強制することはできません。

要望 町独自のプレミアム商品券を発行するなど、何らかの形で経済復興につながる努力をしていただきたい。

今後の授業スタイルへの対策は

教育長 タブレット端末を取り入れていきたい



秋田県が発行したプレミアム飲食券

問 小坂小・中学校における「学びの遅れ」などはあるか。

答 4月17日に秋田県教育委員会から学校の臨時休業措置等について要請があり、子どもたちの健康・安全を第一に考え、4月22日から5月6日

まで臨時休業としました。実施できなかった授業日数7日間については、今年度限りの特別措置として、夏季休業を7月29日から8月19日まで22日間に短縮し、学力の向上と教育活動の充実を図ることにしています。

問 小学校高学年・中学生はリモート授業も考えられ、学力低下を防ぐために授業スタイルを考える必要があると思うが、今後の対策はあるのか。また、リモート授業を行える環境は整備できているのか。

答 国ではこれからの時代を生きる子どもたちにとって、

教育における先端技術等の効果的な活用を求め、一人1台端末及び高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備するなどの「GIGAスクール構想」の実現を進めています。町では令和元年度に33台のタブレット端末を導入しており残りの台数は国庫補助を活用して整備する計画でした。新型コロナウイルス感染症の影響で、令和5年度までの補助を令和2年度で全学年分を前倒しで整備するように通知がありましたので、コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して、タブレット端末249台と関連備品等を補正予算に計上しています。また、リモート授業は各家庭のネット環境も様々なので早急の対応は難しく、タブレット端末を授業に取り入れて進めていきます。

問 第2波を想定した放課後児童クラブ、保育所等の対応はどのようなものか。

答 今までどおり、緊急事態宣言時の学校休業時にも予防を徹底して開設します。小坂マリア園についても同様に受け入れを継続します。



福嶋 正希さん
(古苦竹 50歳)

町内で頑張っている皆さんを紹介するコーナーで、7回目は古苦竹で電気店を営んでいる福嶋正希さんです。

古苦竹で父親の代から福嶋電気店を経営。29歳から仕事を始めて今年で20年になります。仕事のかたわら、以前はかつのPTA連合会の会長もされ、現在は小坂中学校のPTA会長として積極的にPTA活動に参加、貢献しています。また、小坂町国民健康保険運営協議会委員も務めています。

◆町の良いところは何ですか？◆

自然災害が少なく、のどかな街並みが魅力的で明治百年通りが美しいと感じます。

議会への要望はありますか？

これからも町民の代表として活発な意見交換を期待しています。

◆これからの町はどうあってほしいですか？◆

若い定住者が増え、人口減少に歯止めがかかり、町には観光客があふれ、今と変わらず子育てしやすい環境と高齢者にやさしい町であってほしいです。

◆これからの抱負は？◆

子どもを通して成長できたこともたくさんありました。今後もチャレンジ精神を常に持って、全てに全力で取り組んでいきたいと思っています。

◆地域では、電化製品の修理やメンテナンス、新しい製品の相談や設置まで昔ながらの心の通ったお仕事をされ、いつも頼れる電気屋さんとして親しまれている福嶋さん。仕事の合間に、子どもの教育や地域のために活発に活動していることに感謝しています。◆

◆新型コロナウイルス感染症で大変な中、今後も活躍されることを期待しています。お忙しい中、取材へのご協力ありがとうございました。◆

●●●議会を傍聴しませんか？●●●

次の定例議会は9月中旬の開会予定です



熱心に傍聴する町民

傍聴の手続きは簡単です。議場の入り口で、名前と連絡先を書き添えます。

団体で来られる場合は、事前にご連絡ください。

なお、傍聴する人は次の事項を守らなければなりませんので、ご留意願います。

- 一、会議場内の言論に対し可否を表明しないこと。
- 二、いかなる理由があっても議員席に入らないこと。
- 三、騒いで議事を妨害しないこと。
- 四、帽子、襟巻または外とうの類を着用しないこと。
- 五、傘及び棒類を携帯しないこと。
- 六、その他議場の秩序を乱す行為をしないこと。

お問い合わせ先
小坂町議会事務局
電話 0186 - 29 - 3914
FAX 0186 - 29 - 5481

編集後記

新型コロナウイルスが世界に蔓延し、世界大恐慌になりかねない惨事に遭遇してしましました。おそろくジワジワと確実に、その波は押し寄せてくるものと思われます。本町におきましても、観光に携わる方々や飲食業をはじめとする多くの方々に、甚大な被害を与えています。まずは、被害に遭われている方々に、心よりお見舞い申し上げます。6月定例会におきましても6人が新型コロナウイルスに関する一般質問に立ちました。長期戦になりそうですが、町民の皆様の不安や疑問を解消するため、これからは町行政に問い質していきます。

日時議長は就任の挨拶文で「政策提言型議会を目指す」と述べられています。厳しい目で町行政を監視するとともに町民の皆様の意見や要望に耳を傾け、政策として提言できる議会を目指していきたいものです。

副委員長 菅原明雅